

に おい おたす げせん ざい ロボット

ぼくは、ぎゅうにゅうのうまみでいちばん大好きです。あさ、ひる、よるはおかわりものんで一日はいのみます。だけど、ぎゅうにゅうでこま、たこが、あります。おうちで、ぎゅうにゅうのえうとしていました。ヤッパをも、たのこぼしてしまいました。こぼしたぎゅうにゅうが、ふくについて、ふくがくさくなりました。せんだくしても、そのめにおいはとれません。た。まぬみ、たいなにおいかして、おともだちに、さらわれたら、どうしようとおもいました。ぼくはともだちに、イカのスミが、ふくについて、しれなくなりました。というは、なしを、きいたことが、あります。イカのスミは、一ヶ月も、たが、つた、さうです。ぼくは、じぶん、の、たいけん、とおともだちのはなし、です。こいせん、さい、おおもいつきました。すこいせん、さい、は、おん、えら、べたり、あこしのり、うで、せんだく、さたり、して、よう、ふ

くをピカピカにまぶしくすることができません。  
さらに、お世をなんがいかいてもおい  
かえらることはありません。こんなすごいせん  
ざいをつかうには、せんざいのロボットがあ  
たらが、こいいなとおもいました。せんざい  
ロボットはじぶんでうごくことができません。  
かんたくもわかせんたくさじにれたり、ロボ  
トの中のせんざいをいたり、せんたくも  
をほしたりできます。うごさめるためのア  
ンテナもついていて、たぐさんの人のせんたく  
くをたすけるためにとぶこともできます。  
もしすごいせんざいとせんざいロボットが  
あったら、まぢのみんなが一日中、こりえ  
かおでまぢをまけるようになるとおもいま  
す。